

個性あふれる新しいワイン用ブドウが間もなく誕生！

【研究のポイント】

大分県では宇佐市安心院町を中心にワイン醸造が行われています。しかし、近年の温暖化により赤ワインの原料となるブドウの着色が思うように進まず、また、全国的にワイナリーが増加する中で、オリジナリティーのあるワインが求められています。そこで、果樹グループでは県内に自生するブドウ（ブドウ属）の1つである「**エビヅル**」を育種に用いた新しいワイン用ブドウの開発を、平成23年度より安心院葡萄酒工房（三和酒類（株））と共同で進めてきました。その結果、醸造品質と栽培性に優れる**6品種**を選抜し、令和4年1月に品種登録の共同出願を行いました。



登録を待つ**6つ**の個性的なワイン用ブドウ

【研究の成果】

宇佐市内の山野を探索し「エビヅル」6個体を確保

既存品種の「メルロー」などと交配し、交雑種子**4, 682粒**確保しました。

得られた種子を播種（左上）、高接ぎ育成し（右）、**500個体**が着果しました（左下）。

栽培性や果実品質から**12個体**に絞り込みました。

醸造品質から個性のある**6品種**に絞り込みました。

R4. 1
品種登録申請

【関係者の声】



世界には1500種を超えるワイン用ブドウ品種が存在します。世界中のワインを試飲してきましたが、今までに経験した事がない良質のワインを生産できる品種だと期待しています。

安心院葡萄酒工房（三和酒類（株）） 古屋工房長

【連絡先】

担当：農林水産研究指導センター 農業研究部 果樹グループ 落葉果樹チーム
TEL：0978-37-0149
住所：宇佐市大字北宇佐65